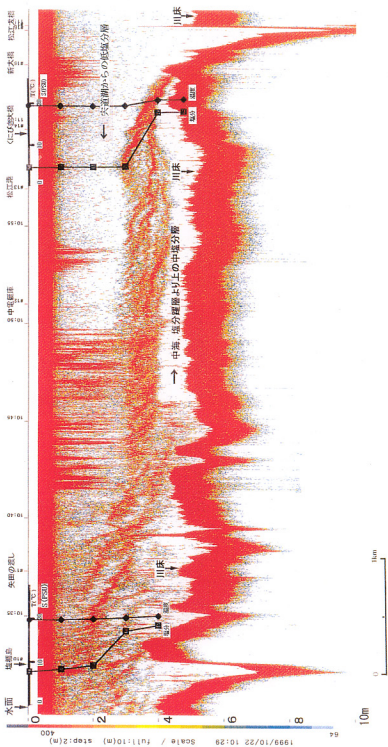


汽水域

<西村 清和・徳岡 隆夫>



塩水楔(塩分躍層)音響プロファイリングシステム(軌走式; SC-3型)による大橋川(塩原島~大橋間)の水塊分布(1999年10月22日, 10:30~11:15の記録)。中海側(図左)からの中塩分水塊の先端部が新大橋付近にまで達し、その上を突進淵(図右)からの底塩分水塊がそれを押りながら流れています。水深2~3mあたりにも重なるように見える音響反射面はそこで塩分が急変していることを示しています。水面直下の濃い帯状部は音源からの直接反射、縦の線は波による乱れを示しています。本文28-35ページ参照。